

校長室から平成31年4月17日

4月18日は長町中の 開校記念日です

4月18日は本校の開校記念日です。開校から73年目を迎えました。ここで、本校の歴史を振り返ってみましょう。皆さんに少しでも長町中学校の歴史を知ってもらいたいと思います。

本校は、昭和22年4月1日、仙台市立第十三中学校として、仙台市内13番目の中学校として、長町小学校の一部を借りて創設されました。4月18日には、開校式並びに入学式が挙行され、生徒数649名、14学級でスタートしました。1学級に46.4名の生徒が在籍していた事になります。やはり当時から中学生の数は多かったのですね。この開校式及び入学式が挙行された日が開校記念日となっています。

その後、昭和24年10月1日に、仙台市立長町中学校と校名を改称し、現在に至ります。皆さんがしっかりと歌っている校歌は、当時の長町中学校国語研究部が作詞、福井文彦氏が作曲し、昭和25年7月1日に制定されました。昭和25年は、西暦にすると1950年ですので、約70年間に渡って、ずっと歌い継がれ、皆さんの代に至っています。伝統ある校歌ですが、今でも新鮮な響きですよ。先日、入学式に参列いただいたご来賓の方から「長町中校歌の合唱版の楽譜がほしい。すばらしい校歌なので是非、自分も歌えるようになりたい。」とご依頼を受けました。そのように感じていただけるのは、きっと皆さんがしっかりと歌い継ぎ、美しく、心に響く合唱を奏でてくれているからだと思います。第一三中学校開設当時は、終戦から2年が経過した頃で、校歌が制定されたのは、戦後の復興期ですので、校歌にある「平和の鐘に微笑えまむ」という歌詞は、戦争が終わった安堵感、平和な時代への期待や希望がこめられていたのかもしれない。また、歌詞にある「文化」「愛」「自由」等々の言葉にも、これからの若者達の限りない成長、そして地域や国の発展の願いも込められていたのかもしれない。

昭和28年、34年、63年には、西多賀中学校、郡山中学校、富沢中学校の分離、開校に伴い、当時、本校から多くの生徒が移籍しました。きっと新しい学校に移籍する希望や、友人と別れる寂しい思いを感じながらの新しいスタートだったと思います。現在では、それぞれの中学校が特色ある学校づくりを行い、発展していますが、長町中学校が母体校でもあります。

昭和43年2月には、校舎が火災で焼失するという不幸に見舞われた事もありましたが、その9ヶ月後には、新校舎が創設されています。東日本大震災時にも、校舎や体育館が大きく損傷しましたが、同時に被災者約800名を受け入れました。当初は体育館を避難所としましたが、損傷が激しく、武道館と中央校舎2階を避難所としました。当時の長町中学校の教職員は、ずっと学校に寝泊まりし、地域の方々と協力し、避難所運営と学校再開に向けて尽力しました。当時の中学生達も学校だけでなく、各避難所でボランティア活動を行い、地域に貢献しました。それが本校の新しい伝統になりつつある「ともに!チーム長町プロジェクト」創設の契機となりました。

昨年度までに、三万人弱の卒業生を輩出し、同窓生の方々が様々な分野で活躍しています。この長町地域にも、当然の事かもしれませんが、同窓生が数多く在住しておられます。皆さんのご両親やご親族の方々もひょっとしたら長町中の卒業生かもしれません。様々な困難を克服し、そして輝かしい歴史に彩られ、現在の長町中学校があり、皆さんがいて、学校生活が成り立っています。